

# アジア3資産ファンド

## [分配コース・資産形成コース]

### <愛称：アジアンスイーツ>

追加型投信／海外／資産複合

#### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

各ファンドは、日本を除くアジア諸国（地域を含みます。）の株式、公社債および不動産投資信託証券に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を図ることを目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年1月16日～2025年7月15日

[分配コース]

第210期	決算日：2025年2月17日	第213期	決算日：2025年5月15日
第211期	決算日：2025年3月17日	第214期	決算日：2025年6月16日
第212期	決算日：2025年4月15日	第215期	決算日：2025年7月15日
第215期末 (2025年7月15日)	基準価額	10,356円	
	純資産総額	1,281百万円	
第210期～ 第215期	騰落率	4.3%	
	分配金合計	180円	

[資産形成コース]

第36期	決算日：2025年7月15日	
第36期末 (2025年7月15日)	基準価額	16,210円
	純資産総額	1,018百万円
第36期	騰落率	4.3%
	分配金合計	120円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

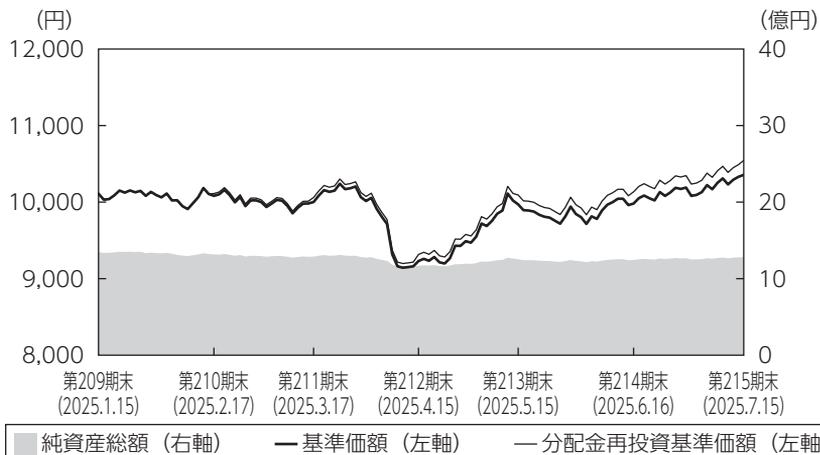
アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### ■ アジア3資産ファンド 分配コース

#### ■ 基準価額等の推移



第210期首： 10,110円  
 第215期末： 10,356円  
 (既払分配金180円)  
 騰落率： 4.3%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

#### ■ 基準価額の主な変動要因

主として、日本を除くアジア諸国の株式、公社債および不動産投資信託証券（REIT）へ、ほぼ基本配分比率に沿って投資を行った結果、株式市場、REIT市場が上昇したことなどから、基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。

#### [組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入マザーファンド	騰落率
アジア好配当株マザーファンド	11.5%
アジア債券マザーファンド	△2.5%
アジアREITマザーファンド	9.0%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第210期～第215期		項目の概要
	(2025年1月16日 ～2025年7月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	76円	0.763%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,915円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	( 44)	(0.447)	
(販売会社)	( 28)	(0.283)	
(受託会社)	( 3)	(0.032)	
(b) 売買委託手数料	4	0.038	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 3)	(0.027)	
(投資信託受益証券)	( 1)	(0.009)	
(投資証券)	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	4	0.044	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 4)	(0.040)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.003)	
(投資証券)	( 0)	(0.001)	
(d) その他費用	51	0.519	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 14)	(0.138)	
(監査費用)	( 0)	(0.001)	
(その他)	( 38)	(0.380)	
合計	135	1.364	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

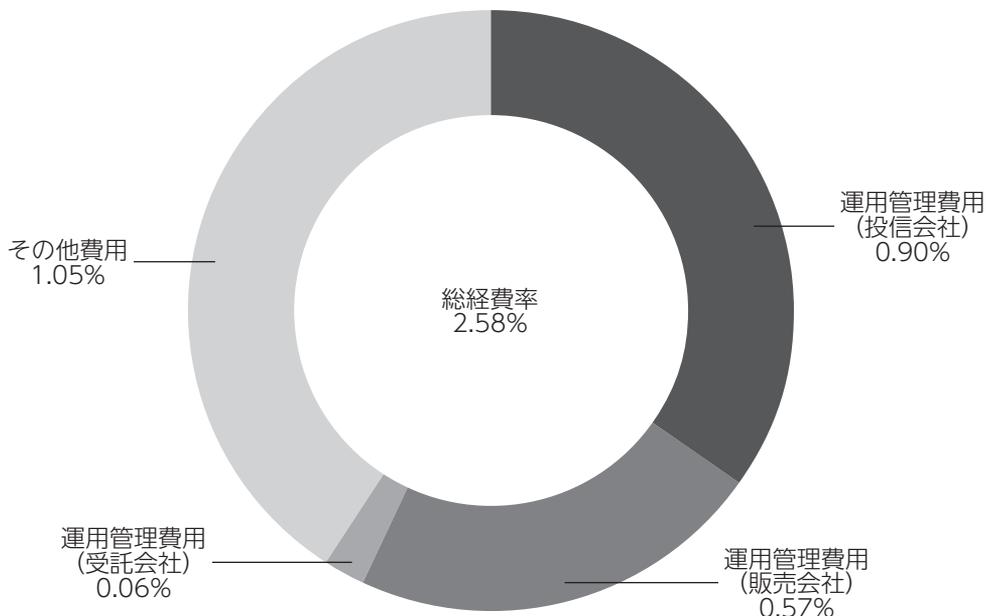
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.58%です。



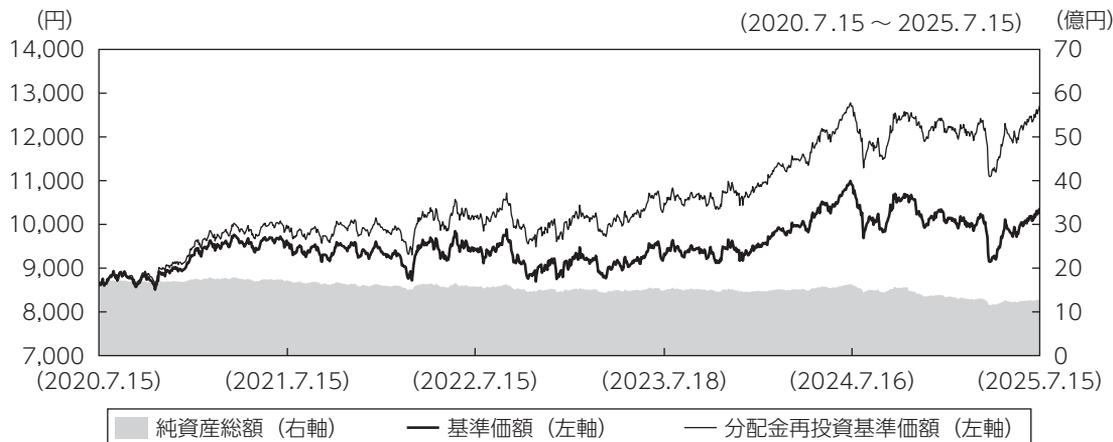
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年7月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年7月15日 期首	2021年7月15日 決算日	2022年7月15日 決算日	2023年7月18日 決算日	2024年7月16日 決算日	2025年7月15日 決算日
基準価額 (分配後) (円)	8,676	9,529	9,427	9,332	10,905	10,356
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	360	360	360	360	530
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	14.2	2.8	2.9	21.2	0.0
MSCI AC アジア指数 (除く日本、配当込み、円ベース) の騰落率 (%)	—	30.3	△5.2	5.8	27.0	6.6
JPMorgan・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース) の騰落率 (%)	—	6.2	8.8	4.3	21.7	△1.3
S&PシンガポールREITインデックス (トータルリターン・円ベース) の騰落率 (%)	—	17.3	16.0	2.8	7.0	1.9
S&P香港REITインデックス (トータルリターン・円ベース) の騰落率 (%)	—	26.7	11.3	△24.3	△9.6	26.7
純資産総額 (百万円)	1,703	1,707	1,580	1,505	1,625	1,281

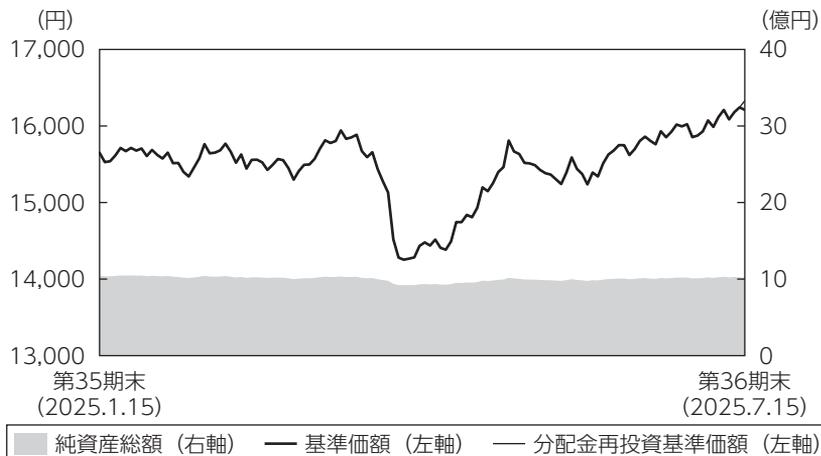
(注1) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。MSCI AC アジア指数 (除く日本、配当込み、円ベース)、JPMorgan・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース)、S&PシンガポールREITインデックス (トータルリターン・円ベース) およびS&P香港REITインデックス (トータルリターン・円ベース) は当ファンドが組入れているマザーファンドの参考指数ですが、投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。各指数については後掲の<当ファンドが組み入れているマザーファンドの参考指数について>をご参照ください。

\* アジア好配当株マザーファンドの参考指数の変更に伴い、2025年7月15日決算の運用報告書からMSCI AC アジア指数 (除く日本・円ベース) を「配当込み」の指数に変更しました (以下同じ)。

(注2) 各指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いています (以下同じ)。

## ■ アジア3資産ファンド 資産形成コース

### ■ 基準価額等の推移



第36期首： 15,650円  
 第36期末： 16,210円  
 (既払分配金120円)  
 騰落率： 4.3%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

主として、日本を除くアジア諸国の株式、公社債および不動産投資信託証券（REIT）へ、ほぼ基本配分比率に沿って投資を行った結果、株式市場、REIT市場が上昇したことなどから、基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。

### [組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入マザーファンド	騰落率
アジア好配当株マザーファンド	11.5%
アジア債券マザーファンド	△2.5%
アジアREITマザーファンド	9.0%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第36期		項目の概要
	(2025年1月16日 ～2025年7月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	118円	0.764%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,483円です。
(投信会社)	( 69)	(0.447)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 44)	(0.284)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 5)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.038	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 4)	(0.027)	
(投資信託受益証券)	( 1)	(0.009)	
(投資証券)	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	7	0.044	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 6)	(0.040)	
(投資信託受益証券)	( 1)	(0.003)	
(投資証券)	( 0)	(0.001)	
(d) その他費用	80	0.515	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 21)	(0.137)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 58)	(0.377)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	211	1.361	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

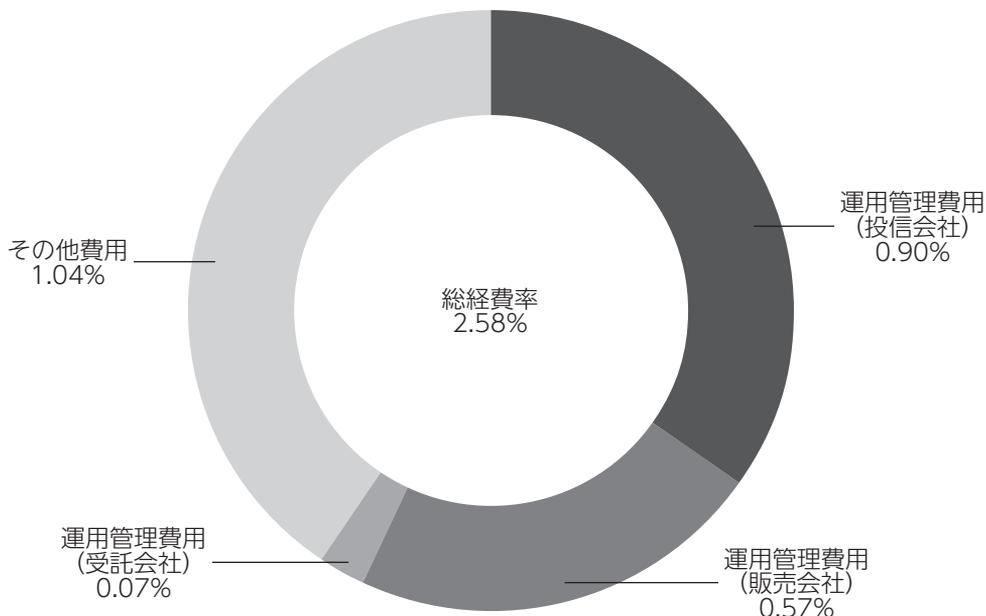
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.58%です。



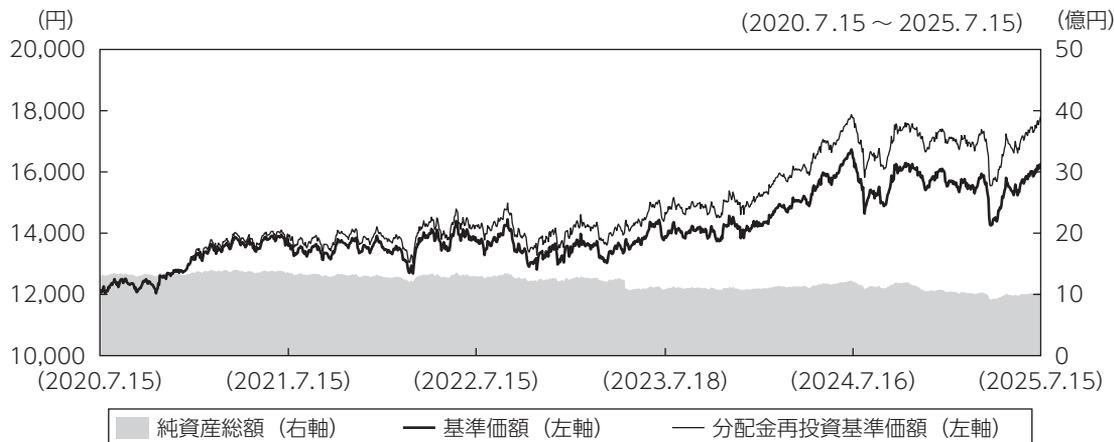
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年7月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年7月15日 期首	2021年7月15日 決算日	2022年7月15日 決算日	2023年7月18日 決算日	2024年7月16日 決算日	2025年7月15日 決算日
基準価額 (分配後) (円)	12,149	13,585	13,744	13,903	16,455	16,210
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	280	210	250	360	260
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	14.2	2.7	3.0	21.1	0.1
MSCI AC アジア指数 (除く日本、配当込み、円ベース) の騰落率 (%)	—	30.3	△5.2	5.8	27.0	6.6
JPMorgan・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース) の騰落率 (%)	—	6.2	8.8	4.3	21.7	△1.3
S&PシンガポールREITインデックス (トータルリターン・円ベース) の騰落率 (%)	—	17.3	16.0	2.8	7.0	1.9
S&P香港REITインデックス (トータルリターン・円ベース) の騰落率 (%)	—	26.7	11.3	△24.3	△9.6	26.7
純資産総額 (百万円)	1,308	1,344	1,290	1,089	1,205	1,018

(注1) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。MSCI AC アジア指数 (除く日本、配当込み、円ベース)、JPMorgan・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース)、S&PシンガポールREITインデックス (トータルリターン・円ベース) およびS&P香港REITインデックス (トータルリターン・円ベース) は当ファンドが組入れているマザーファンドの参考指数ですが、投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。各指数については後掲の<当ファンドが組み入れているマザーファンドの参考指数について>をご参照ください。

\* アジア好配当株マザーファンドの参考指数の変更に伴い、2025年7月15日決算の運用報告書からMSCI AC アジア指数 (除く日本・円ベース) を「配当込み」の指数に変更しました (以下同じ)。

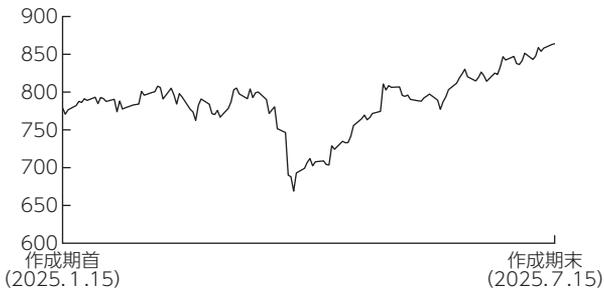
(注2) 各指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いています (以下同じ)。

■ アジア3資産ファンド [分配コース・資産形成コース]

■ 投資環境

● アジア株式市況

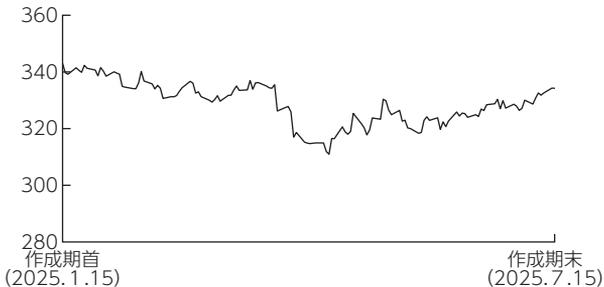
<MSCI AC アジア指数 (除く日本、配当込み、円ベース) の推移>



アジアの株式市場（米ドル建て）は上昇しました。作成期初から米国の長期金利低下などを受けて底堅く推移していましたが、2025年4月上旬に米トランプ政権が打ち出した相互関税に動揺して急落しました。その後、米中が関税率を相互に引き下げたこと、大統領選挙後に韓国新政権による景気刺激策や株式市場改革への期待が高まったことなどが支援材料となり、作成期末にかけては上昇基調となりました。

● アジア債券市況

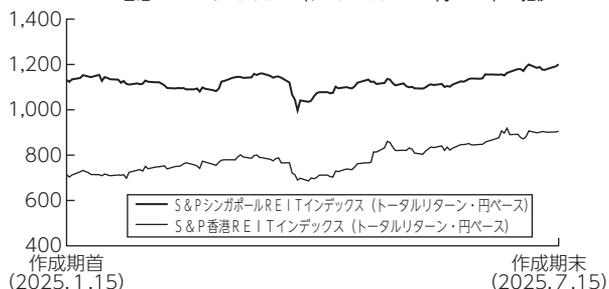
<JPMorgan アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース) の推移>



アジアの米ドル建て債券市場は上昇しました。作成期初から3月にかけては、米国の軟調な経済指標により利下げ観測が高まったことなどから上昇しました。その後、トランプ大統領による相互関税が発表されると投資家のリスク回避姿勢が強まり下落する局面がありましたが、中国を除き発動が90日間停止されたことやイスラエルとイラン間の停戦合意を受けて地政学リスクへの警戒感が後退し、投資家のリスク選好姿勢が強まり、作成期末にかけて上昇しました。

## ●アジアREIT市況

<S&PシンガポールREITインデックス (トータルリターン・円ベース)  
とS&P香港REITインデックス (トータルリターン・円ベース) の推移>



アジアREIT市場は上昇しました。米国の相互関税の導入発表によって下落する場面はあったものの、中国の景気対策期待や投資家の米ドル離れによるアジア地域への資金流入などが下支えとなりました。また、香港市場では、米ドルペッグ維持のために香港金融管理局が資金供給を行ったことで香港の金利が大きく低下したことも香港REITの追い風となりました。また、シンガポール市場でも米国の関税政策の不透明感が後退したことで作成期末にかけては堅調となりました。

## ●為替市況

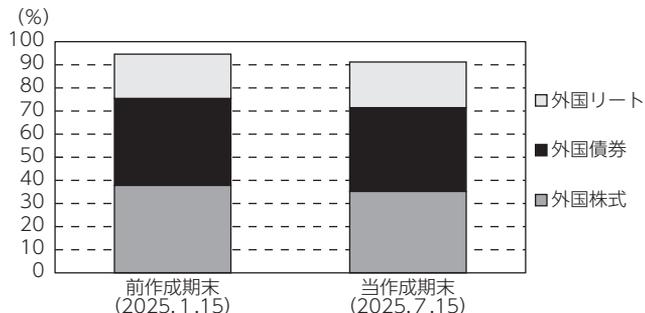
為替市場では、米ドルは対円で下落しました。米政権による通商政策をめぐる不透明感などを背景としてドルへの信認が低下したことや、日銀による利上げが行われたことで日米金利差の縮小が意識されたことなどが下落要因となりました。

## ポートフォリオについて

### ●アジア3資産ファンド 分配コース

各マザーファンドの組入比率は、アジア好配当株マザーファンド40%程度、アジア債券マザーファンド40%程度、アジアREITマザーファンド20%程度とし、組入比率の合計は高位を維持しました。

#### <資産別組入比率の推移>

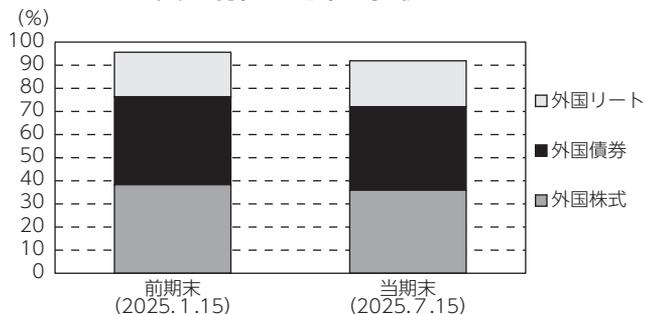


(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

### ●アジア3資産ファンド 資産形成コース

各マザーファンドの組入比率は、アジア好配当株マザーファンド40%程度、アジア債券マザーファンド40%程度、アジアREITマザーファンド20%程度とし、組入比率の合計は高位を維持しました。

#### <資産別組入比率の推移>



(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

## ●アジア好配当株マザーファンド

アジア諸国の持続的な配当支払いや配当成長が期待できる個別銘柄に選別投資し、安定した配当の確保と株価の中長期的なリターンの獲得を目指しました。国別では、中国、台湾、インドなどを高位に組み入れましたが、期末にかけては台湾の組入比率を引き下げました。業種別では、金融、情報技術、コミュニケーション・サービス、一般消費財・サービスなどを高位に組み入れました。

## ○組入上位10業種

No.	業種	比率
1	銀行	29.5%
2	メディア・娯楽	8.5
3	半導体・半導体製造装置	6.0
4	保険	5.6
5	ソフトウェア・サービス	5.5
6	電気通信サービス	4.4
7	資本財	4.3
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.3
9	自動車・自動車部品	4.2
10	一般消費財・サービス流通・小売り	3.4

(注) 比率は、アジア好配当株マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

●アジア債券マザーファンド

日本を除くアジア諸国（地域を含む）の政府機関および企業等が発行する公社債に投資し、安定した利息収入の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指して分散投資を行いました。期末時点では中国、インド、韓国を高位に組み入れ、ポートフォリオを構築しました。また、セクター別では、銀行、不動産などを高位に組み入れました。

○組入上位10カ国

No.	国名	比率
1	イギリス領バージン諸島	14.3%
2	ケイマン諸島	9.8
3	韓国	9.7
4	シンガポール	8.0
5	イギリス	7.9
6	オランダ	6.7
7	香港	6.6
8	タイ	6.5
9	インド	6.4
10	フィリピン	5.1

(注1) 比率は、アジア債券マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国名は発行国（地域）で表示しております。

## ●アジアREITマザーファンド

保有資産価値などの観点から割安と見込まれる銘柄に加え、財務体質が健全で経営に柔軟性のある銘柄、底堅い収益成長が期待される銘柄などに選別投資を行いました。期中では、シンガポールの工業リートの入替えやヘルスケアリートの購入などの売買を行い、シンガポールに7割程度、香港に3割程度配分しました。REITの組入比率は高位を維持しました。なお、外貨建資産に対する為替ヘッジは行いませんでした。

## ○組入上位10カ国

No.	国名	比率
1	シンガポール	68.2%
2	香港	27.0
3	韓国	2.5
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—

(注1) 比率は、アジアREITマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国名は発行国（地域）で表示しております。

■ アジア3資産ファンド 分配コース

■ 分配金

当作成期の収益分配金は、利子・配当収入相当分を中心に安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、基準価額の水準や市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第210期	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期
	2025年1月16日 ~2025年2月17日	2025年2月18日 ~2025年3月17日	2025年3月18日 ~2025年4月15日	2025年4月16日 ~2025年5月15日	2025年5月16日 ~2025年6月16日	2025年6月17日 ~2025年7月15日
当期分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
対基準価額比率	0.30%	0.30%	0.32%	0.30%	0.30%	0.29%
当期の収益	25円	10円	10円	23円	30円	30円
当期の収益以外	4円	19円	19円	6円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	1,762円	1,743円	1,724円	1,717円	1,718円	1,725円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## ■ アジア3資産ファンド 資産形成コース

### ■ 分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年1月16日 ～2025年7月15日
当期分配金（税引前）	120円
対基準価額比率	0.73%
当期の収益	120円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	7,404円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●アジア3資産ファンド 分配コース

アジア好配当株マザーファンドへ40%、アジア債券マザーファンドへ40%、アジアREITマザーファンドへ20%の組み入れを行い、組入比率の合計は高位を維持する方針です。

### ●アジア3資産ファンド 資産形成コース

アジア好配当株マザーファンドへ40%、アジア債券マザーファンドへ40%、アジアREITマザーファンドへ20%の組み入れを行い、組入比率の合計は高位を維持する方針です。

### ●アジア好配当株マザーファンド

アジア株式市場は、米国の関税政策による世界経済の減速懸念や不確実性の高まりなどが大きな懸念材料ですが、主にアジア域内での主要経済大国である中国とインドが強力な景気対策を行う可能性が高いと考え、前向きな見方としています。このような環境下、持続的な配当支払いや配当成長が期待できる個別銘柄への選別投資に注力していきます。

### ●アジア債券マザーファンド

アジア債券市場は、世界の中で、アジア各国経済の相対的な高成長が見込まれているため、底堅い動きを想定しています。トランプ政権の政策、ロシア・ウクライナや中東情勢等には引き続き注視が必要と考えています。このような環境下、主としてアジアの企業等が発行する米ドル建て債券に分散投資を行います。また、長期的な視点から通貨の上昇が期待されるアジア通貨建て債券について、各国の経済・市場動向を見ながら選別して保有する方針です。

### ●アジアREITマザーファンド

トランプ米政権の関税政策の不透明感が後退する中で、市場はリスクオンに傾いています。しかしながら、先進国中心に財政赤字拡大懸念から長期金利が上昇しており、アジアREIT市場の不透明要因になると思われます。また、中国経済の動向にも注意が必要です。引き続き、保有資産価値などの観点から割安と見込まれる銘柄に加えて、財務体質が健全で有能な経営陣に運営されている銘柄や底堅い収益成長が期待される銘柄などに注目していく方針です。

## お知らせ

### 約款変更のお知らせ

■各ファンドおよび各ファンドが投資対象とする「アジア好配当株マザーファンド」、「アジア債券マザーファンド」および「アジアREITマザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。  
(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

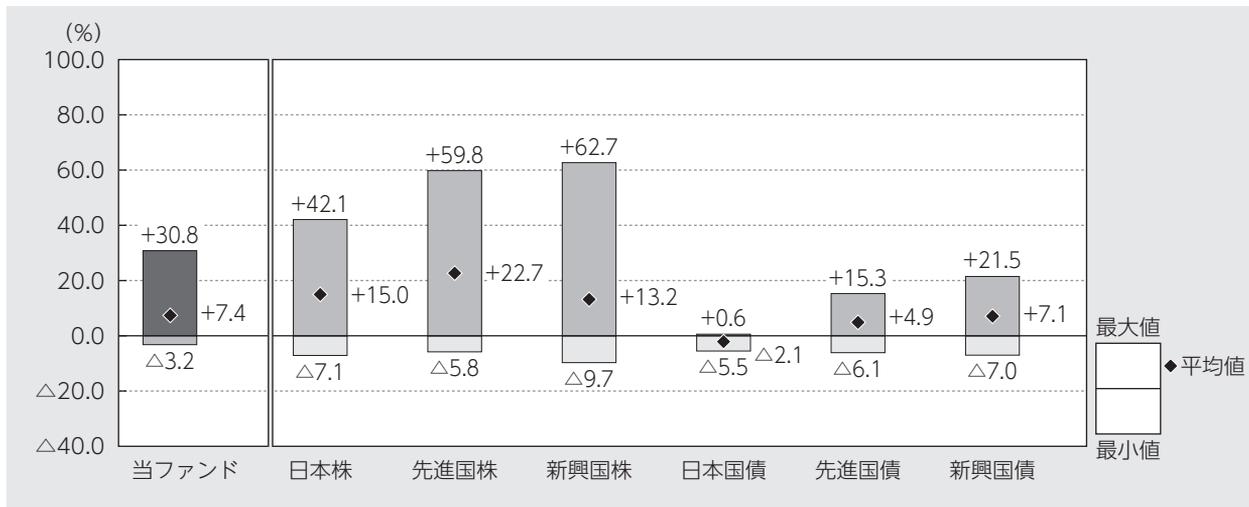
## 当ファンドの概要

### ■ アジア3資産ファンド【分配コース・資産形成コース】

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2007年7月31日から2025年10月31日までです。	
運用方針	主として、日本を除くアジア諸国（地域を含みます。以下同じ。）の株式、公社債および不動産投資信託証券（一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。以下同じ。）に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要投資対象	アジア3資産ファンド 【分配コース・ 資産形成コース】	アジア好配当株マザーファンド受益証券、アジア債券マザーファンド受益証券およびアジアREITマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アジア好配当株 マザーファンド	日本を除くアジア諸国の株式（DR【預託証券】を含みます。）のうち、企業の利益成長が見込まれ、かつ相対的に高い配当利回りが期待できる銘柄を主要投資対象とします。
	アジア債券 マザーファンド	日本を除くアジア諸国の政府、政府機関および企業等が発行する公社債を主要投資対象とします。
	アジアREIT マザーファンド	日本を除くアジア諸国の外国金融商品市場に上場（これに準ずるものおよび上場予定を含みます。）している不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>アジア諸国*の株式、公社債および不動産投資信託証券（リート）へ分散投資を行います。 *日本およびオセアニアは除きます。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>各資産への投資は、各マザーファンドを通じて行い、マザーファンド受益証券への投資比率は、高位を維持することを基本とします。</p> <p>アジア好配当株マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限をフルトン・ファンド・マネジメント・カンパニー・リミテッドに委託します。</p> <p>アジア債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限をルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーに委託します。なお、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部（債券等の取引執行の一部）を、子会社であるルーミス・セイレス・インベストメンツ・アジア・ピー・ティー・イー・リミテッドに再委託します。</p> <p>アジアREITマザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限をマッコリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに委託します。なお、マッコリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部（REIT等の投資判断の一部）を、グループ会社であるマッコリー・ファンズ・マネジメント（香港）リミテッドに再委託します。</p>	
分配方針	<p>&lt;分配コース&gt;</p> <p>第3期以降、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。以下同じ。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として利子・配当収入相当分を中心に安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>毎年2月、5月、8月および11月の決算時には、基準価額の水準ならびに分配対象額等を勘案し、売買益等を上記で定める額に加え分配することを目指します。</p> <p>&lt;資産形成コース&gt;</p> <p>毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

### ■ アジア 3 資産ファンド 分配コース



2020年7月～2025年6月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

#### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

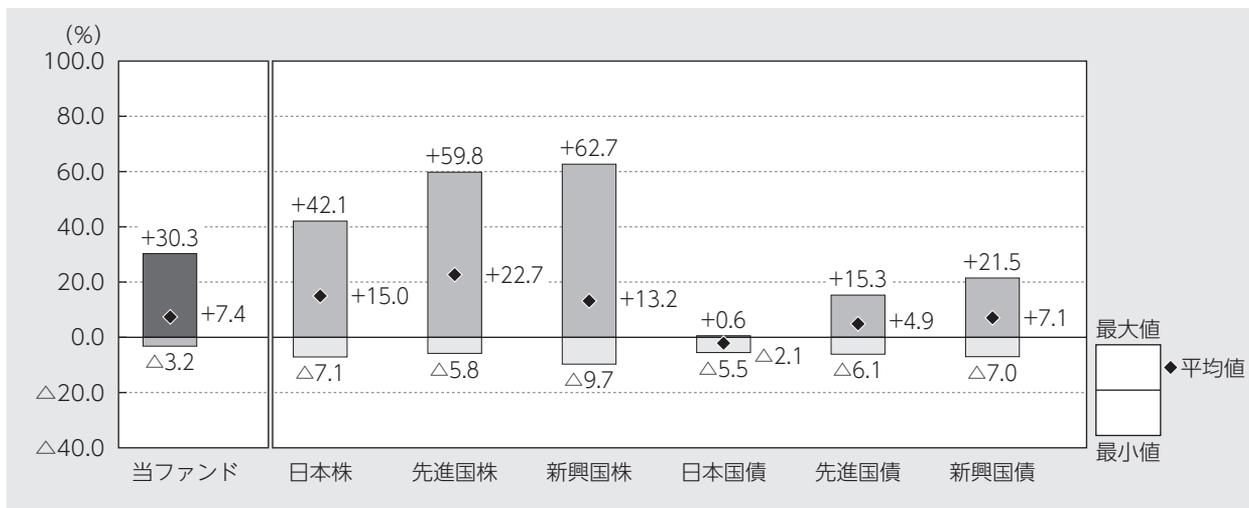
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

■ アジア3資産ファンド 資産形成コース



2020年7月～2025年6月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

\*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### ■ アジア3資産ファンド 分配コース

### ■ 当ファンドの組入資産の内容 (2025年7月15日現在)

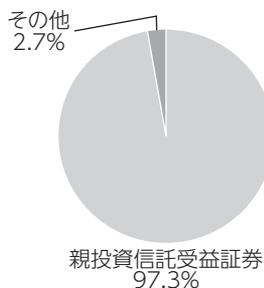
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：3ファンド)

	第215期末
	2025年7月15日
アジア好配当株マザーファンド	39.2%
アジア債券マザーファンド	37.8
アジアREITマザーファンド	20.3
その他	2.7

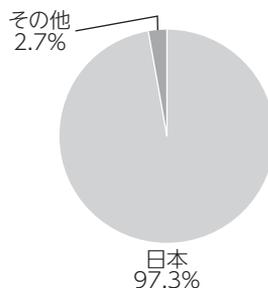
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

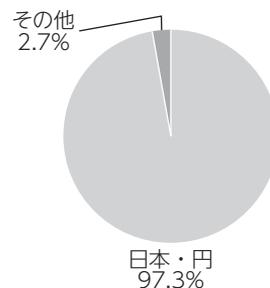
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

## 純資産等

項目	第210期末	第211期末	第212期末	第213期末	第214期末	第215期末
	2025年2月17日	2025年3月17日	2025年4月15日	2025年5月15日	2025年6月16日	2025年7月15日
純資産総額	1,316,349,054円	1,287,714,337円	1,169,665,908円	1,252,538,461円	1,243,988,751円	1,281,554,201円
受益権総口数	1,305,649,668口	1,287,636,168口	1,267,221,162口	1,256,367,017口	1,246,403,524口	1,237,491,802口
1万口当たり基準価額	10,082円	10,001円	9,230円	9,970円	9,981円	10,356円

(注) 当作成期間 (第210期～第215期) 中における追加設定元本額は6,223,034円、同解約元本額は101,866,821円です。

■ アジア3資産ファンド 資産形成コース

■ 当ファンドの組入資産の内容 (2025年7月15日現在)

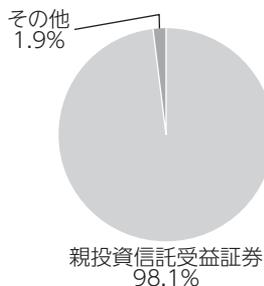
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：3ファンド)

	当期末
	2025年7月15日
アジア好配当株マザーファンド	40.1%
アジア債券マザーファンド	37.7
アジアREITマザーファンド	20.3
その他	1.9

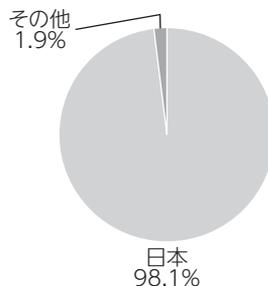
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

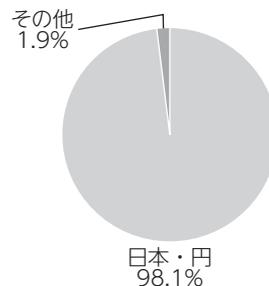
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

■ 純資産等

項目	当期末
	2025年7月15日
純資産総額	1,018,379,497円
受益権総口数	628,246,299口
1万口当たり基準価額	16,210円

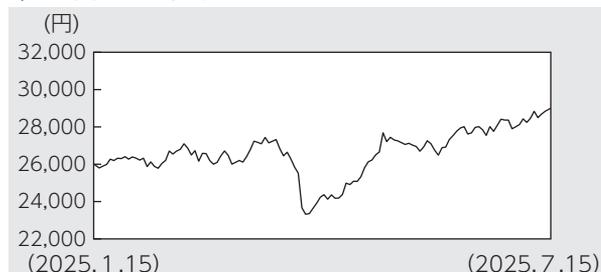
(注) 当期中における追加設定元本額は5,075,621円、同解約元本額は40,623,369円です。

## ■ アジア3資産ファンド [分配コース・資産形成コース]

### ■ 組入ファンドの概要

[アジア好配当株マザーファンド] (計算期間 2025年1月16日～2025年7月15日)

#### ◆基準価額の推移



#### ◆組入上位10銘柄

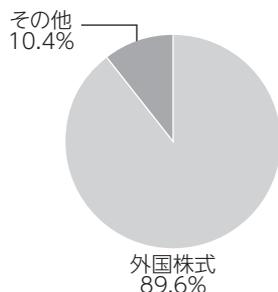
銘柄名	通貨	比率
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	7.2%
ICICI BANK LTD ADR	アメリカ・ドル	5.7
HDFC BANK LTD ADR	アメリカ・ドル	5.7
INFOSYS LTD ADR	アメリカ・ドル	5.5
DBS GROUP HOLDINGS LTD	シンガポール・ドル	4.3
SINGAPORE TECH ENG	シンガポール・ドル	4.3
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	4.3
TAIWAN SEMICONDUCTOR SP ADR	アメリカ・ドル	3.9
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	3.4
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	3.1
組入銘柄数	40銘柄	

#### ◆1万口当たりの費用明細

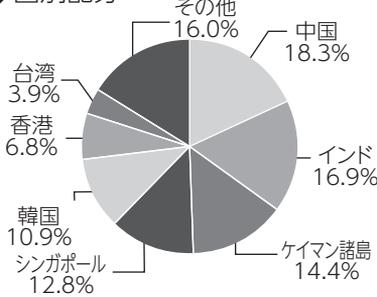
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	18円 ( 18)	0.069% (0.069)
(b) 有価証券取引税 (株式)	27 ( 27)	0.100 (0.100)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	262 ( 20) (242)	0.986 (0.075) (0.911)
合計	307	1.155

期中の平均基準価額は26,607円です。

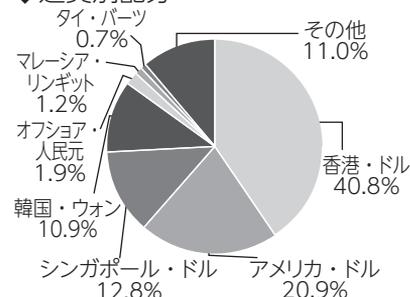
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

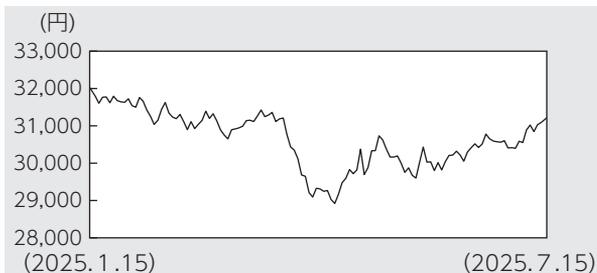
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[アジア債券マザーファンド] (計算期間 2025年1月16日～2025年7月15日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

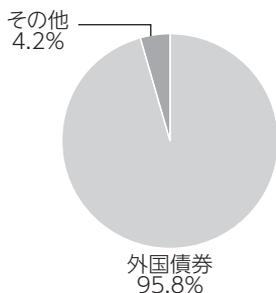
銘柄名	通貨	比率
STANDARD CHARTERED PLC 01/11/35	アメリカ・ドル	3.6%
BANGKOK BANK PCL/HK 5.65 07/05/34	アメリカ・ドル	3.5
SUNNY OPTICAL TECH 5.95 07/17/26	アメリカ・ドル	3.4
SMRC AUTOMOTIVE HOLDINGS 5.625 07/11/29	アメリカ・ドル	3.4
SHRIRAM FINANCE LTD 6.15 04/03/28	アメリカ・ドル	3.4
POSCO 4.875 01/23/27	アメリカ・ドル	3.4
DBS GROUP HOLDINGS LTD 5.479 09/12/25	アメリカ・ドル	3.4
MEDCO LAUREL TREE 6.95 11/12/28	アメリカ・ドル	3.4
YANLORD LAND HK CO LTD 5.125 05/20/26	アメリカ・ドル	3.4
GOHL CAPITAL LTD 4.25 01/24/27	アメリカ・ドル	3.4
組入銘柄数	32銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

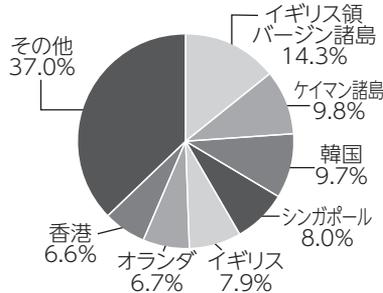
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	14円 ( 2) (12)	0.047% (0.007) (0.040)
合計	14	0.047

期中の平均基準価額は30,624円です。

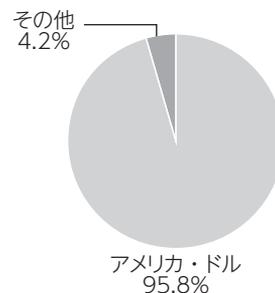
◆資産別配分



◆国別配分



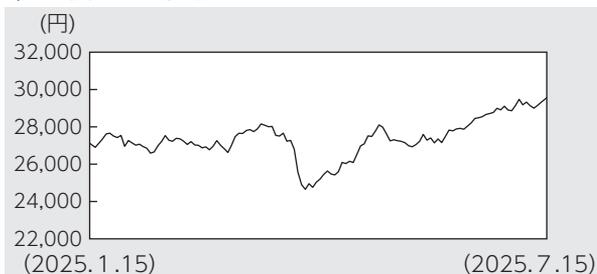
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。
- (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注7) 現金等はその他として表示しています。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[アジアREITマザーファンド] (計算期間 2025年1月16日～2025年7月15日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

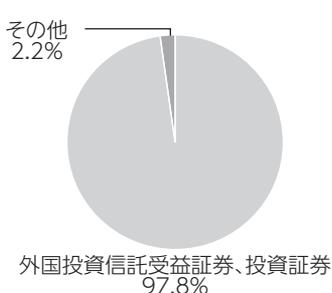
銘柄名	通貨	比率
LINK REIT	香港・ドル	22.2%
CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL TRUST	シンガポール・ドル	10.6
CAPITALAND ASCENDAS REIT	シンガポール・ドル	10.2
FRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL TRUST	シンガポール・ドル	9.7
KEPPEL DC REIT	シンガポール・ドル	6.4
PARKWAY LIFE REIT	シンガポール・ドル	5.3
ESR REIT	シンガポール・ドル	5.2
MAPLETREE LOGISTICS TRUST	シンガポール・ドル	5.1
SF REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	香港・ドル	4.8
FRASERS CENTREPOINT TRUST	シンガポール・ドル	4.7
組入銘柄数	14銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

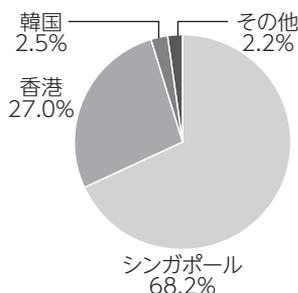
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	14円 ( 13) ( 1)	0.052% (0.047) (0.005)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	6 ( 5) ( 1)	0.021 (0.018) (0.003)
(c) その他費用 (保管費用)	145 (145)	0.531 (0.531)
合計	165	0.604

期中の平均基準価額は27,365円です。

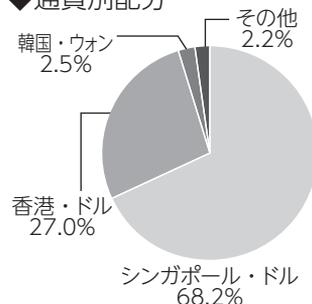
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドが組み入れているマザーファンドの参考指数について>

●MSCI AC アジア指数 (除く日本、配当込み、円ベース)

「MSCI AC アジア指数 (除く日本、配当込み、円ベース)」は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●JPモルガン・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース)

「JPモルガン・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース)」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

●S&PシンガポールREITインデックス (トータルリターン・円ベース) およびS&P香港REITインデックス (トータルリターン・円ベース)

「S&PシンガポールREITインデックス (トータルリターン・円ベース)」および「S&P香港REITインデックス (トータルリターン・円ベース)」は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、同指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数 (TOPIX)」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス (除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。